

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和3年 6月 21日	
愛知県知事 殿	
提出者	
住 所 愛知県江南市中奈良町一ツ目1番地	
氏 名 森永乳業株式会社 中京工場	
工場長 八木 幸男	
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 0587-55-7311	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	森永乳業株式会社 中京工場
事業場の所在地	愛知県江南市中奈良町一ツ目1番地
計画期間	令和3年4月1日から令和4年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	09 食品製造業
②事業の規模	24,041 百万円
③従業員数	348 人（令和3年3月末）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	工場から排出→収集・運搬→中間処理→再資源化（肥料化・飼料化等） 工場から排出→収集・運搬→埋立処分

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) サステナビリティ本部 サステナビリティ推進部 環境マネジメントグループ 工場長 (産業廃棄物総括責任者) 製造部長 (産業廃棄物処理責任者) 事務部長 (産業廃棄物管理者) 製造部工務 製造部工務 社員 (産業廃棄物施設管理者) 製造部工務 社員 (特別管理産業廃棄物管理責任者) 製造部工務 社員 (産業廃棄物処理施設技術管理者)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 (以降、別紙 1, 2, 3 の通り)			
1 状	【前年度 (令和 2 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙 1, 2, 3 の通り	
	排出 量	同上	t
	(これまでに実施した取組) 同上		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙 1, 2, 3 の通り	
	排出 量	同上	t
	(今後実施する予定の取組) 同上		
産業廃棄物の分別に関する事項			

	①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙 1, 2, 3 の通り
	②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 同上

(第 3 面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		

		産業廃棄物の種類		
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
		(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（ 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t		t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t		t
	(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（ 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類			
	全処理委託 量	t		t
	優良認定処理業者へ の 処理委託 量	t		t

			再生利用業者への 処理委託 量	t	t
			認定熱回収業者への 処理委託 量	t	t
			認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託 量	t	t
		(これまでに実施した取組)			

(第 5 面)

	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類			
		全処理委託 量	t	t	
		優良認定処理業者への処 理委託 量	t	t	
		再生利用業者への 処理委託 量	t	t	
		認定熱回収業者への 処理委託 量	t	t	
		認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託 量	t	t	
		(今後実施する予定の取組)			

※事務処理欄	
--------	--

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(別紙 1 － 2 面)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
1 現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残さ
	排出量	1,780 t	1,554 t
	(これまでに実施した取組) 担体槽導入による汚泥の自己消化 汚泥乾燥機の安定稼働 菌叢管理による引抜汚泥量の適正化 各製造ラインでの歩留まり向上による排水負荷の軽減		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残さ
	排出量	1,780 t	1,540 t
	(今後実施する予定の取組) 乾燥機の安定稼働（トラブルによる脱水汚泥搬出0の継続） 各製造ラインでの歩留まり向上による排水負荷の軽減		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		

(別紙 1－3 面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
1 現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残さ
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残さ
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
1 現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残さ
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1,424 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	汚泥乾燥機の導入		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残さ
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1,424 t	0 t

		(今後実施する予定の取組)
--	--	---------------

(別紙 1 － 4 面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
1 現状	【前年度（ 令和 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残さ
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残さ
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
1 現状	【前年度（ 令和 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残さ
	全処理委託 量	356 t	1, 554 t
	優良認定処理業者へ の 処理委託 量	356 t	1, 554 t
	再生利用業者へ の 処理委託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者へ の処理委託 量	0 t	0 t

		認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託 量	0 t	0 t
		(これまでに実施した取組) 汚泥乾燥機の導入による脱水 粕受けの水抜き口改造によるコーヒー、茶滓の脱水 菌叢管理による引抜汚泥量の適正化 各製造ラインでの歩留まり向上による排水負荷の軽減		

(別紙 1－5 面)

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残さ
	全処理委託 量	356 t	1,540 t
	優良認定処理業者への処 理委託 量	356 t	1,540 t
	再生利用業者への 処理委託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託 量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 乾燥機の安定稼動（トラブルによる未処理汚泥の排出を0） 各製造ラインでの歩留まり向上による排水負荷の軽減		
	※事務処理欄		

(別紙 2 - 2 面)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
1 現状	【前年度（ 令和 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	燃え殻
	排出 量	80 t	53 t
	(これまでに実施した取組) 排水 MLSS 管理値変更による廃酸委託量の抑制 パックリサイクル破砕機更新 ビニール類のリサイクル化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	燃え殻
	排出 量	20 t	50 t
	(今後実施する予定の取組) 焼却ごみの分別・リサイクル化による燃え殻削減 排水処理設備安定稼働による廃酸委託量抑制の継続		
産業廃棄物の分別に関する事項			

	①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 透明ビニール類、包装袋の分別・リサイクル化
	②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 焼却ゴミの更なる分別・リサイクル化

(別紙 2 - 3 面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—

		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
		(これまでに実施した取組)		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	—	—
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
		(今後実施する予定の取組)		

(別紙 2－4 面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
1 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	燃え殻
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	燃え殻
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t

		(今後実施する予定の取組)	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
1 現状	【前年度（ 令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	燃え殻
	全処理委託 量	80 t	53 t
	優良認定処理業者への 処理委託 量	80 t	53 t
	再生利用業者への 処理委託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託 量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		

(別紙 2－5 面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	燃え殻
	全処理委託 量	20 t	50 t
	優良認定処理業者への処 理委託 量	20 t	50 t
	再生利用業者への 処理委託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託 量	0 t	0 t

		認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託量	0 t	0 t
		(今後実施する予定の取組) 焼却ゴミの分別・リサイクル化による燃え殻削減 排水処理設備安定稼働による廃酸委託量抑制の継続		
※事務処理欄				

別紙 3 - 2 面

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
1 現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラ類

		排出 量	90 t	73 t
		(これまでに実施した取組) 金属くずの分別によるリサイクル化 プラスチック類の分別によるリサイクル化		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラ類
		排出 量	90 t	73 t
	(今後実施する予定の取組) 金属くず分別の強化による再利用 廃プラスチック類の更なる分別によるリサイクル化			
産業廃棄物の分別に関する事項				
	①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラ類、廃油、蛍光灯・電池類		
	②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類の更なる分別取組みによるリサイクル化		

(別紙 3－3 面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t

		(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(別紙 3－4 面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

	1 現状	【前年度（ 年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラ類
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
		(これまでに実施した取組)		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラ類
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
		(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

	1 現状	【前年度（ 令和2年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラ類
		全処理委託量	90 t	73 t
		優良認定処理業者への 処理委託量	90 t	0 t
		再生利用業者への 処理委託量	0 t	73 t
		認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
		認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0 t	0 t

		(これまでに実施した取組) 金属くずの分別によるリサイクル化 プラスチック類の分別によるリサイクル化
--	--	---

(別紙 3－5 面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラ類
	全処理委託量	90 t	73 t
	優良認定処理業者への処理委託量	90 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	73 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 金属くず分別の強化による再利用 プラスチック類の更なる分別によるリサイクル化		
	※事務処理欄		

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。